

拝啓 夏至の候、平素は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社では、自衛隊の後方支援分野におけるこれまでの経験や知見を踏まえて、自衛隊の後方支援に関わる各種の検討及び取り組みについての提案活動を実施しております。

本号では、多様化、複雑化が進む現代社会だからこそ求められる物事のシンプルな伝え方「1メッセージ」について、そのメリットや使い方を紹介させていただきます。自衛隊における組織作りや効果的なコミュニケーションの確立の参考になれば幸いです。 敬具

代表取締役 清水 俊宏

現代社会においては、インターネットやSNSなど様々な媒体に言葉が溢れていて、物事の本質を見極めることがとても難しくなっています。そして、物事を丁寧に伝えようとすると、関連する様々な事象が気になり、あれもこれも伝えたいことがあります。

しかし、そうすることで逆に伝わりにくくなっていると感じる事はありませんか？

一生懸命に伝えようするあまり、説明が長く複雑になって相手を困らせていませんか？

友人との会話で「どうなりたいの?」と聞くと「偉くなりたいよ」とか「稼げるようになりたいね」という答えが返ってくることがあります。それに対して「具体的には?」と聞いて「あれもやりたい、これもやりたい、それもやりたい・・・」と言われると、返す言葉がなくなってしまいます。また「あの映画は良かったね。ストーリーもいいし、音楽もいい、映像も綺麗だし、キャストがいいし、俳優陣の表現力も良かった・・・」と評論家ばりに様々な良かった点を聞かされても、その人が最も心を動かされたのがどこなのかよく分からず、「そうだね・・・」程度の返事しかできないことがあったりします。

自衛隊ではプレゼン資料で1スライド1メッセージとするなど、シンプルに伝える訓練をされていると思いますが、多様化や複雑化が進み、モノや言葉が溢れている昨今、よほど意識しないと、あれもこれもとなってしまうケースが多くなるのではないのでしょうか。

そこで今号では「1メッセージ」を紹介します。『1メッセージ 究極にシンプルな伝え方(杉野幹人著/ダイヤモンド社)』では、世界の最前線で活躍するプロフェッショナル達は、基本にして最強の伝え方「1メッセージで伝えること」を持っているとのことです。

本書では「1メッセージ」の最大の特徴は、SN (Signal/Noise) 比が大きい、つまり有効なシグナルがノイズと比べてとても強いことです。最も伝えたい有効な論点を際立たせるために、余計な情報をほぼゼロに減らしたメッセージということになります。

とは言え、「1メッセージ」で伝えることは簡単ではありません。1つに絞ってはっきり伝えるのは、難しいだけでなく、怖さもあります。はっきりしている分、伝えることが外れる可能性や否定される可能性も伴います。しかし、曖昧さを残したり、冗長になったりすると、「色々と言ってくれるけど、何を言いたいのか分からないよ!」と言われてしまうことがあります。では、どのように伝えれば良いのでしょうか。

本書では「人を動かす1メッセージ」を作る方法として、①焦点化、②先鋭化、③結晶化の3つの技術を紹介しています。それぞれについて簡単に説明しましょう。

	要点	コツ
①焦点化	「一番大事な論点」に絞り込む	傾聴、質問、疑問文
②先鋭化	「尖った答え」にまとめる	反論可能性、反証可能性、定義
③結晶化	「生々しい言葉」で磨き固める	小さな言葉、数字、相手の言葉

- ①焦点化では、例えば傾聴することで相手が一番知りたいことを正確に把握し、必要であれば疑問点を質問することで狙いを絞って、的確な一言で伝えることがポイントです。
- ②先鋭化では、当たり前で何にでも誰にでも当てはまるような言葉は相手には刺さらないことを理解してください。「なぜそう言い切れるの?」と言い返されるようなメッセージこそが有効ということです。自分と相手に定義が揃いにくい曖昧な言葉もNGです。
- ③結晶化においては、相手がイメージできる具体的な言葉を用いることがポイントです。相手が使っている言葉をそのまま使う、あるいは、数字を使うことなどが有効です。

経営者が「あなたの経営戦略は素晴らしい!」と言われても、どの戦略がどういう理由で素晴らしいのか分からないと、その言葉は経営者には刺さらず、記憶にも残りません。単に短くするのではなく、適切な方法で「1メッセージ」を作ること、相手の記憶に残る伝え方ができるようになります。ぜひ勇気を持って「1メッセージ」に挑戦してください。始めは難しくても、誤解を恐れずに「1メッセージ」で伝えることで、議論が進み、人が動くようになることが期待されます。頭に浮かぶ様々な言葉から、焦点化、先鋭化、結晶化によって、自分が最も重要だと信じることを「1メッセージ」で伝えてみてください。「1メッセージ」は、自分が信じるものであれば、間違っているともよいのです。そのメッセージが、人を動かし、組織の成長に繋がることになります。

自衛隊のようにグループで課題解決やリスク対応を進める組織では、「1メッセージ」は優先順序や具体策を決めるための効率的なコミュニケーションに大いに役に立つことが期待できます。メンバー間のコミュニケーションが活発になり、組織としての意思決定のスピードアップにもつながるでしょう。業務上の報告・連絡・相談はもちろん、日頃の質問やアドバイスにも活用できると、お互いの理解が深まり、信頼関係が高まるでしょう。

今後の後方支援態勢の構築に向けたヒントになれば幸いです。

【お知らせ】

弊社では、これまでに多くの基地や部隊等でコーチング研修やコーチングスキル習得研修を提供しています。また昨年11月にWEB雑誌『Qualitas』で取り上げていただきました。コーチングを提供する思いや若者へのメッセージをお伝えする内容になっています。



更に、より多くの幹部自衛官の方々にコーチングを知っていただきたいという思いで、航空自衛隊連合幹部会機関誌「翼」陽春号 No. 138に、「本番で力を発揮するために」というタイトルで、メンタルマネジメントの重要性及びコーチングの有効性を紹介させていただきました。お手元に本誌をお持ちでしたら、お時間があるときに目を通していただくと幸いです。今後もコーチングの紹介及び研修を各地で提供させていただきます。興味のある方は、お気軽にお問合せください。



弊社の詳しい取り組みは、ホームページ (<https://apasnets.com/>) で紹介しています。この5月に、かわさきFMラジオ「Catch The Dream RFMラボラトリー」に出演した際の放送内容も弊社ホームページで聴くことができます。

ホームページでは、アーパス通信のバックナンバーも閲覧できます。下記のQRコードからもアクセスできます。なお、アーパス通信ページは会員専用なので「Apas202210」と入力してください。



【発行者】

株式会社 アーパス 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南3-63-6
電話 : 080-6679-0594 E-mail : t.shimizu@apasnets.com

